

五十音歌

岐阜縣 松原 掬翠

の字とやー朝寝あさねの癖くせのある者は生涯せいがい人に劣あせるな  
 りく  
 いの字とやー意地いぢの悪わるさその者は連つんにはぶかれ耻は  
 をかくく  
 うの字とやー後うしろや前まへや右みぎや左ひだり考かんがへ遊あそぶは愛あいらし  
 さく  
 えの字とやー得えたる事ことをば人ひと々に教おしゆる人ひと社しゃ稀まれな  
 るぞく  
 の字とやー教おしへ庭にはに遊あそぶのも前せん世せの種たねのよきと  
 知しれく  
 かの字とやー重かさなる事ことのあるとても親おやの仰あやせ直すくに  
 聴きけく  
 さの字とやー氣き儘ままに育そだつ其人まひとは末まへに惡あく業げふあるなら

んく  
 くくの字とやー苦くるみあれば其その後あとに樂たのみある事ことを頼たの母も  
 敷しさく  
 けの字とやー懈け怠た勝ちなる子こ供ども等は老おいて悔くは共とも甲か斐ひは  
 なしく  
 この字とやー孝かう行かうつくす其その者は末まへに譽はまはるなら  
 んく  
 さの字とやー去さるも進すすむも法はふがあり人ひとに笑わらはる所しよ  
 作さするなく  
 しの字とやー忍しのべば忍しのべぬ事ことぞなき忍しのべぬ事ことを能よ  
 く忍しのべく  
 すの字とやー相あ撲まの始はじめは誰たれなるぞ野の見みの宿すく禰ねと蹴け  
 速はやなりく  
 せの字とやー精せい神しん外そとに散ちらさず學まなべよ勵ほめ子こ供ども  
 達たちく

その字とやー祖先の恩の高きこと富士の山より猶高し

たの字とやー高きに登るも低さより一步に進

み行け

ちの字とやー智識ありども自慢して誇る者社見悪

くけれ

つの字とやー司となりし其者は道行く時も氣を付

けよ

ての字とやー手足や面に墨付ず學べよ勵めよ習字

をば

どの字とやー所を人に問はれては訥らず慥に答せ

よ

なの字とやー名高き慈母の三遷は孟子の稚き時な

るぞ

にの字とやー日本に生れし我々は必ず君に忠盡せ

く

ぬの字とやー縫針出来る娘兒は人に譽られ敬はる

く

ねの字とやー臥るも起るも父母に言葉かけるが禮

義なり

のの字とやー野山に遊ぶ小鳥さへ鳴て吾友誘ふぞ

よ

はの字とやー鳩に三枝の禮があり禮なき人ぞ耻か

しき

ひの字とやー人の誹りをなす者は必ず人に誹らる

く

ふの字とやー富貴な家に生れても貧き者に自慢す

な

への字とやー平生藝に氣を付て覺ゆる者社少なけ

れ

ほの字とやー譽はまれは誰たれも望のぞむなり望のぞむ人ひとこそ譽はまれなし

まの字とやー誠まことの道みちは暫しばくも離はなれてならぬ道みちなる

みの字とやー美濃みのの鵜飼うかひと養老やうろうは外國ぐわいこく人も尋たづね來き

むの字とやー村むらで遊あそぶ其折そのせりも言葉ことばや所作しよさを謹つとめよ

めの字とやー惠めぐみ心こころのある者ものは蔭かげでも人ひとが慕しよふな

もの字とやー孟宗もうそう竹たけの出初ではめは親おやに孝かうせし効しよなり

やの字とやー日本やまと魂たまし有あるものは陣じんに臨のぞめば勇氣ゆうきま

いの字とやー諫いさむる心こころの有ある者ものは常つねに我身わがみを謹つとめ

よの字とやー讓ゆづり合あひして梨なし分けん融ゆの行見習おこなひなまへ

えの字とやー英國えいこく迄までも留學りうがくに出掛でかける基もとは小學校せうがく

よの字とやー心こころのなき者ものは神かみや佛ほとけの養護やうごある

らの字とやー樂らくくに暮くらす父母ちちははの教育けいよう受けし恩思おんしへ

りの字とやー利益りえきを得えられし其人そのひとは農工商のうこうしやうに苦勞くろう

るの字とやー留守居るすゐの時ときは束の間つかまも心こころはなすな我わが

家の字とやー禮義れいぎ作法さはよを謹つとめば人ひとに愛敬あいけい受うるぞよ

れの家いへの字とやー禮義れいぎ作法さはよを謹つとめば人ひとに愛敬あいけい受うるぞよ

ろの字とや一論を企つ其者は立身出世の例なし

わの字とや一譯も分らぬ事柄を人に話して惑はず

ぬの字とや一石より堅き心にて爲せば成らざるこ

うの字とや一兎は疾く走れ共龜に負けたる談あり

ゑの字とや一榮耀永花を好まずに一層勵め子供達

をの字とや一治まる御代に生れきて君の恵みぞ忘

るゝな

子守歌

古 劍 生

○朝は早よ起き。心を正し、今日のつとめに、精を出せ。

○蔭とひなたの。隔てをつけず。子供だいに守をせよ。

○書にもかいたら。見苦しからう。人の心の。奥底は。

○支那にかへした。遼東半島。永く忘るな。國の人。

○富士は高いが。それより高い。親の御恩を。忘るなよ。

○雀雀よ。何と曰うて鳴くぞ。君に忠。忠。いうてなく。

○鳥鳥よ。何と曰うて鳴くぞ。親に孝。孝。いう

自作の子守歌を印刷して子守等にやりましたが子守等はよろこんで聴きました